学校番号	１０１２

令和８年度　芸能文化科

教科	芸能文化	科目	創作演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

お芝居や人表現をすることが好き人はもちろん、人前で話をするのが苦手、大きな声が出せない、コミュニケーションが苦手だと感じている人向けの実習です。

2　学習の到達目標

・演劇台本を使っての学習により物語の読解力を身につけ、実際に演じてみて自分らしい創造的な表現を身に付ける。
・他者と協働し、合意形成する力を育む。
・自分の言葉で表現できるようになる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	コミュニケーション発声を通じて発声、及び対面コミュニケーションの基礎を身につける。 スピーチ構成力を磨くことで人前で堂々と話す力をつける。	エチュードによる即興演劇を通じて、会話の構成、身体や声の表現を身につける。	台本を使ってのペア、もしくはグループでの演技体験を通じて積極性やチームワークを育む。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学	単	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法

				知(a)	思(b)	主(c)
1		1年間の授業の進め方を理解し、自らの学習目標を決めて授業の取り組み方を明確にする。	a: 創造的な表現活動をするために必要な技術を身につけ活かすことができる。 b: 個々の作品の特徴や良さを的確に感じ取ることができ、分析的に評価できる。 c: 意欲的、主体的、創造的に表現や鑑賞の活動に取り組んでいる。	自己紹介スピーチ(内容)	自己紹介スピーチ(表現)	復習ノート 実習態度
		コミュニケーション発声を通じて発声の基礎を学ぶ。 対面での会話を繰り返すことにより、より高度なコミュニケーション能力を目指す	a: 創造的な表現活動をするために必要な技術を身につけ活かすことができる。 b: 個々の作品の特徴や良さを的確に感じ取ることができ、分析的に評価できる。 c: 意欲的、主体的、創造的に表現や鑑賞の活動に取り組んでいる。	コミュニケーション発声(内容理解)	コミュニケーション発声(表現)	復習ノート 実習態度
2		エチュードによる即興演劇を通じて、会話を進めることや物語の構成について学ぶ。	a: 創造的な表現活動をするために必要な技術を身につけ活かすことができる。 b: 個々の作品の特徴や良さを的確に感じ取ることができ、分析的に評価できる。 c: 意欲的、主体的、創造的に表現や鑑賞の活動に取り組んでいる。	読解能力	台本演技	復習ノート 実習態度
		演劇台本を使って、実際に演じてみることにより自分なりの表現力を身につける。	a: 創造的な表現活動をするために必要な技術を身につけ活かすことができる。 b: 個々の作品の特徴や良さを的確に感じ取ることができ、分析的に評価できる。 c: 意欲的、主体的、創造的に表現や鑑賞の活動に取り組んでいる。	読解能力	台本演技	復習ノート 実習態度
3		1年間で学んだことを活かし、演劇台本を演じ、発表する。	a: 創造的な表現活動をするために必要な技術を身につけ活かすことができる。	読解能力	台本演技	復習ノート 実習態度

			b: 個々の作品の特徴や良さを的確に感じ取ることができ、分析的に評価できる。 c: 意欲的、主体的、創造的に表現や鑑賞の活動に取り組んでいる。	台本内容	台 本 創作	復習ノート 実習態度

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度